

ほっとファミリー体験発表会

血縁のつながりだけではない、いろいろな家族のかたちがあります。里親として里子を迎えたご家庭の話をぜひお聞きください。養育家庭制度についてだけでなく、自分の家族について見つめなおしたり、考える機会になるかもしれません。

- ・日時：令和3年11月15日（月）午後2時～3時30分
- ・会場：羽村市福祉センター 大会議室
- ・内容：体験発表・養育家庭制度の説明



★詳細は広報10月15日号をご覧ください★

令和2年度 体験発表会のご報告

令和2年度は、昨年初めて里子さんを迎えられた、フレッシュな里親さんからお話を伺いました。里父さん、里母さんからたくさんの愛情を注がれ、成長していく里子さんの様子について、ゆっくりお話を聞くことができました。

11月は児童虐待防止月間

●羽村市×杏林大学公開講演会●

気づこう、かかわろう子どものSOS

～ヤングケアラーの問題から考える～

ヤングケアラーとは、本来大人が担う家事や家族の世話、介護感情面のサポートなどを担っている18歳未満の子どもです。

ケアを担わざるを得ない子どもたちは、自分の苦しみに気づきにくく、長期にわたり、その後の人生においても影響を受けます。地域に住む私たちが、子ども達に何が出来るか一緒に考えてみませんか？

【講師】加藤 雅江氏（杏林大学保健学部 健康福祉学科教授）

【日時】令和3年11月30日（火）午後2時～4時

【会場】生涯学習センターゆとろぎ 小ホール

★詳細は広報11月1日号をご覧ください★

子育てに悩んだら、困ったら
相談できる場所があります

立川児童相談所

042-523-1321
月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前9時～午後5時

児童相談所全国共通ダイヤル

189（いちはやく）
365日24時間対応

羽村市子ども家庭支援センター

042-578-2882
月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時

羽っぴーだより
あのね・・・
令和3年 10月1日発行 No.21
羽村市子育て世代包括支援センター



子育て応援コラム

～考えてみよう、排泄のこと～



「オムツが外せない」「トイレで排泄をしてくれない」とか「おねしょが治らない」という悩みについてお聞きすることがあります。

心理学者のエリクソンは幼児期前半の心理社会的課題として「自律性」を獲得することが重要と言っています。子どもはおむつのない開放的な身体で、トイレで排泄することで、自分を律する感覚を得ます。自律というのは自分で決めると言うことです。いつからちゃんとできるようになるかは、個人差があります。子どもさんの中にはオムツの中で排泄する感覚が固定してしまって、トイレではできなくなっている人がいます。自然に任せておけばいつの間にかオムツが外れるとは言えないのです。ゆったりした気持ちで排泄できるよう、環境を整え（楽しい場所づくり）排泄をうながす働きかけをしてください。自分の体から出た排泄物を周りの大人が喜んでくれることが子どもの自尊心を育てます。逆に失敗した時に叱られたり、がっかりされたりすることで子どもの心は大きく傷つきます。

「おねしょ」は体の成熟と関連しています。寝ている時（無意識）の失敗を叱っても意味がありませんが、安心して就寝できるようにすることは大切です。小学校入学前後になってもおねしょが続くようでしたら「夜尿症」と言う病気かもしれません。お困りの場合は専門家に相談してください。

*参考資料 『佐々木正美の子育て百科』大和書房
『バイバイ、おねしょ！』富部志保子 朝日新聞出版
子育て相談課母子保健・相談係 臨床心理士 横内 弥生

羽村市子育て世代包括支援センター

【問合せ】
★母子保健・相談係★
電話：042-555-1111
（内線 692～697）
★子ども家庭支援センター★
電話：042-578-2882（直通）

●小作駅・羽村駅より「はむらん」で市役所前バス停下車 ●小作駅・羽村駅より徒歩15分

おしゃべい場 報告版

7月のテーマ「卒乳について」



◆卒乳を始めたきっかけは？◆

- ・嘔まれるのが痛くてやめた。
- ・1歳1ヶ月になり、食事量と運動量が増え、すんなり飲まなくなった。夜もご飯でお腹いっぱいになり、ぐっすり眠ってくれた。
- ・妊娠してつわりが辛かったのでやめた。
- ・目安として1歳になったらと考えていた。
- ・夜中の授乳が大変だから。・仕事で保育園に預けるから。
- ・小児科で「そろそろ卒乳したら…」と言われたから。
- ・本人がいらなと言ったから。

◆卒乳後のお子さんの変化は？◆

- ・朝方まで眠ってくれるようになった。・まったく欲しがらなくなった。
- ・他の飲料を飲むようになった。・離乳食をたくさん食べてくれるようになった。

◆先輩ママからのアドバイスをお願いします！◆

- ・いつまでにやるという目安を決めて、徐々に飲む回数を減らすと、すんなりやめやすいと思う。
- ・ガーゼ、毛布、おしゃぶりを代用品にした。・ひたすらドライブした。
- ・パパの長期休みのタイミングで寝かしつけや遊び相手になってもらったり、協力してもらった。



計画的に徐々に飲む回数を減らしていくと卒乳しやすいかもしれませんね。ある日突然卒業することもあるようなので、焦らずに過ごすのが良いのかもしれない。

8月のテーマ「おむつバイバイ」



◆どのタイミングで始めましたか？◆

- ・排泄の前後に言葉や仕草で教えるようになった。
- ・幼稚園等の入園に合わせて。
- ・排泄の間隔が1、2時間空くようになった。
- ・周りの友達がトイレを始めたのをきっかけにして誘った。

◆「しんどいな」と思ったことは？◆

- ・遊びに夢中になっていると何を言っても乗ってこなくて、もらしてしまう。
- ・できるようになったと思ったら、もらすの繰り返しで洗濯が面倒だった。
- ・トイレの水が自動で流れる設定をOFFにするのを忘れてしまい、ジャーッ！と水の流れる音を怖がり、トイレに行かなくなってしまった。

◆工夫したことや効果的だったことは？◆

- ・オマル、補助便座を使った。・成功した時には大いに褒めた。
- ・オマルについている音楽をかけたり、興味を引くようトイレの中を工夫した。
- ・トレーニングパンツやキャラクターのパンツをはかせた。
- ・生活のルーティーンの切れ目にトイレに誘い、遊び中は誘わないようにした。
- ・トイレに成功した時だけ食べられるご褒美のおやつを用意したり、ご褒美シールを貼ったりした。
- ・「トイレ行ったら〇〇しよう、〇〇食べよう、〇〇に出かけよう！」や「座るだけでもOK!」等の声かけをした。

トイレに成功した時はとにかく褒めてあげたり、トイレに興味を引くように工夫するのが効果的な方法かもしれませんね。前向きな言葉がけもしてあげてくださいね。



おしゃべい場 10月のテーマは「新しい生活スタイル」

毎月変わるテーマに沿って、思ったことや、つぶやきなどを掲示板にはってみませんか？子育て中の方どうのつながりを感じられる場を、一緒に作っていきましょう。



【実施日時】

毎月1日～20日の相談員が在席している曜日

- ★中央児童館：毎週火・木・土
- ★東児童館：毎週火・金・日
- ★西児童館：毎週月・水・金

【掲示場所】 各児童館 保育室

【時間】 保育室開室時間

